

法政大学現代法研究所
国連グローバル・コンパクト研究センター・ニュースレター
第1号 2008年4月7日

皆様

新年度を迎えまして、GC 研究センターも本格稼働です。2月28日の公開研究会の席で、規程のご承認と研究員、客員研究員の確定をさせていただきました。先日、法政大学より、2008年度のセンターの研究助成金申請を認めると仮決定（総長、理事会の交代期ですので正式決定が遅れます）したという内示も受け、これでいよいよスタートです。皆様のお力添えにお礼申し上げますとともに、今後の相変わらずのご協力のほどもお願いいたします。

(1) 2008年度のGC研究センター予算の決定

4月1日に、5研究グループの幹事の方々にお集まりいただき、2008年度の研究体制についてご相談しました。まず、収入の一応の見込みが立ちましたので、予算の決定をしました。一応、1千万円規模で骨格的な活動を予算化しました。これによって以下の活動を行います。

- (1) 国連GC事務所へのインターンの派遣 2名
- (2) ヨーロッパへの派遣 1名
- (3) 中国への派遣 2名
- (4) GC年次会合への派遣 1名
- (5) GCアジア地域フォーラムへの派遣 3名
- (6) 各グループの研究会 5グループ×5回=25回
- (7) 夏季の合同合宿（東京） 1回
- (8) 資料蒐集
- (9) リーフレットなどの広報文書の作成

予算に余裕があれば、次の活動を行います。この部分は、あるいは外部の資金を確保して執行することになるかもしれません。

- (1) 韓国での調査 1名
- (2) バンコクへの派遣 1名
- (3) 国連GC事務所人権・労働基準担当スタッフの招聘 1名

また、この予算には含まれていませんが、別会計で次の活動も行います。

- (1) ホーム・ページの整備、運用
- (2) 公開研究会、研修会
- (3) 外部の研究会、研修会などへの講師の派遣

このように大型の研究計画になっています。日本で最初のGCの総合的な研究機関ですので、しなければならないことが山ほどあります。皆様のお力添えなしには実現が困難です。研究センターからもいろいろとお誘いやお願いがあ

と思いますが、できましたら、なさりたい研究活動について、積極的に申し出てください。

(2) GC 研の事務・研究体制の整備

法政大学市ヶ谷キャンパスの現代法研究所事務室内に事務所を置き、センター長と研究補助者が仕事をすることにしました。勤務日は、基本的に月曜日と木曜日です。月曜日（午前）及び木曜日（午前ないし午後）に事務所会議を開催します。

事務所内にこれから蒐集する各種の資料を集めて配置します。研究員の皆様の研究にお使いいただきたいと思います。研究用の座席も 2 席確保しましたので、研究拠点としてご利用ください。

また、ニューヨークの国連 GC 事務所との連携を深めます。事務所内に国連 GC 事務所との連絡担当者を置きます。GCJN を経由して国連 GC に加入するとともに、国連の GC アカデミック・ネットワークに加入します。GC の年次会合が開催されればそれに参加します。国連 GC 事務所の人権・労働基準担当副事務局長を日本に招聘します。6 月に韓国のソウルで開催されるアジア地域フォーラムに参加します。こうした国際的な活動に合わせて、研究センター文章の英語化ないし中国語化も急ぎます。

日本国内では、GCJN との連携を深めます。GCJN は、4 月から、経営トップ主導型の活動強化を目指して運営体制も一新していますが、GC 研究センターとしては全面的に協力していきます。GCJN の人権・労働基準分科会の運営に協力し、合同の研究会を開催します。GCJN にインターン 2 名を派遣します。

さらに、その他の機関との連携を進めます。ILO 駐日事務所、OECD 東京センター、経済同友会、日本青年会議所、東京人権啓発企業連絡会、大阪同和・人権問題企業連絡会、連合、パブリック・リソース・センター、自治体国際化協会、UCLG 日本支部などとの連携を進めます。

研究センターの情報発信は大事な活動ですので、ホーム・ページの構築を急ぎます。

(3) 研究活動のテーマ

4 月 1 日の会合では、GC 研究センターの 2008 年度の研究テーマについて、これまでにさまざまな機会に挙げたものを整理して検討しました。すでにお認めいただいた 5 つのグループに振り分けましたので、これでよろしいのか、年間に研究する大まかな方向性について、各グループでご検討ください。具体的にはグループの幹事の方からの連絡をお待ちください。

なお、2008 年度は、初年度ということもあり、最初のうちは各グループが共通して研究すべき事項を合同研究会の形で研究したいと思います。現在、総合・共通テーマとしては、各国の企業による先進的な活動事例の検討、企業の

社会的貢献活動の評価手法の開発、寄附文化社会の創造、GC、ILO、OECDの労働基準の総合的な推進などが挙がっています。

また、GCの先行業績の調査も始めます。これは、センターとしての文献蒐集の作業と関係します。皆様のお知恵もお借りしなければなりません。ご協力ください。

(4) 『グローバル・コンパクトの新展開』

本書は、3月19日に無事に刊行されました。発行部数は1000冊で、500冊は法政大学出版局から市場に回し、500冊は現法研として配布するものですが、張り切って配布したために配布用の500冊がほぼなくなりました。4月中旬以降、市場からの返本があり次第に事務局で確保して更なる配布に備えます。

(5) 国連本部GC事務所でのインターンシップ

研究員の菅原絵美さんが、ニューヨークの国連本部でのGC事務所のインターンに向けて出発しました。2008年度の研究センターの最初の活動になります。ご活躍をお祈りします。

(6) 次回の合同研究会

次回の合同研究会を5月中旬に行います。詳細は具体的に内容が決まり次第にお知らせします。

(7) メーリングリスト登録のお願い

研究センターのメーリングリストを開設致しました。グローバル・コンパクト研究に関連する情報交換、意見交換のツールとしてご活用頂ければ幸いです。参加をご希望される方は、お手数ですが、下記アドレスまでご一報頂きますようお願い致します。

メーリングリストへのご参加(自動処理)のアドレス

hosei_gc_research_center-subscribe@yahoogroups.jp

お問い合わせ先

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

法政大学現代法研究所国連グローバル・コンパクト研究センター事務局

電話 03-3264-9380

FAX 03-3264-9378

E-Mail hosei_ungc_research_center@yahoo.co.jp